重大学 准教授 . 勝 川俊雄 35

が活発化している。国連 で規制しようという動き 際取引をワシントン条約 専門家委員は、ワシン |糧農業機関 (FAO) ン条約による規制の条 大西洋クロマグロの国 るだろう。 は確実である。日本の高 日本の輸入が減少するの 海クロマグロの重要性 級マグロ市場における近 は極度に減少しており、 は、今後、ますます高ま

成し、国際取引の規制が り、地中海でのマグロの 現実味を帯びてきた。 スとイタリアが規制に賛 件が満たされていること 土要漁業国であるフラン で合意をした。2月に入 輸出規制を免れたとし 大西洋クロマグロ あるだろう。海外の自然 を増やす余地は大いに 歳のヨコワである。適切 統計は公開されていな 保護団体への対策とし な規制によって漁獲量 の漁獲の中心は零歳、1 て、日本のマグロの漁獲 い。そこで、 日本近海のクロマグロ 市場統計か

勝川俊雄氏 を基に、簡単な試算を試 ら得られる限られた情報

段階で異なる漁業者によ

サイズ(7歳)まで生き残

ために、将来の大きな利 る。目先の小さな利益の

網での漁獲は無規制であ

いという考えは、

管理能力があることを国

れ以外に、引縄、

残る確率は35%、一本釣

クロマグロは、多くの

よび巻網によるヨコワの な漁業としては、引縄お って利用されている。主 大型巻網による日

万円失われる計算にな る確率は28%となる。ヨ 漁業の長期的利益が13 コワを1尾漁獲すると、 漁業全体の 相場が下がる可能性はあ 個体の漁獲が増えれば、 が分かる。もちろん、大型 益の芽を摘んでいること 得られる、潜在的利益が るが、資源管理によって か。不合理漁獲によって、 り方を続けて、いったい る。現在の非合理的な獲 大勢の人間の生活基盤を 誰が得をするのだろう 破壊しているように

> (一本釣り) 47万尾 43959

2235億円

単価

1,650

24,570

135,800

れたヨコワは、2004 本の産地市場に水揚げさ 損失を試算 市場統計によると、日 した上で、その利益が公 だろう。 漁業全体の利益を大きく 非合理漁獲を抑制し、

大きいことは間違いない か、私には見えない。 完全養殖 は未知数

29547 >

体重

(KG) 3

52

年齢

1歳

5歳

408億円

単価

(¥/Kg) 550

1,350

5,000

生残率

100%

35%

28%

完全養殖が救世主のよ プロ(巻網) 56万尾

307161万尾 4856トン 27億円

ヨコワ

巻き網

みならず、売った流通業 だろう。獲った漁業者の 際社会に示す責任がある

然資源は獲り尽くして良 消費大国の日本には、自 ることで、 国の資源を適切に利用す いる。漁業大国・マグロ 念ながら、後者に傾いて なのか。世界の世論は残 の枠組みでの管理が必要 自然保護団体による保全 て良いのか、それとも、 能力が問われている。漁 ではないだろうか。 素管理機関に任せておい 現在、漁業管理機関の 漁業関係者に りをする時間は、 世代に残すために、今、 が負うべき責任である。 せた行政・研究者すべて されていない。 はならない。問題の先送 え、行動を起こさなくて 何ができるかを各自が考 マグロ食文化を、未来の 者、食べた消費者、獲ら

マグロ食文化を次世代に

どを挙げることができ る。大西洋クロマグロと 獲り残した場合に、巻網 すると、1歳のヨコワを 自然死亡が同じだと仮定 釣による大型魚の漁獲な 本海産卵群の漁獲、一本 サイズ (5歳) まで生き 56%、生産金額は平均 ~8年の平均で年間48 08億円、6年後に一本 4年後に巻網で獲れば4 を1歳魚と仮定すると、 で27億円だった。ヨコワ の生産金額が期待でき 釣で獲れば2235億円 平に配分できるような枠うに言われているが、そ 組みをつくることが、国 800%を確保した。そ 日本政府は非合理漁獲の 存続のために全力を尽く 家の役割である。しかし、 ためにヨコワの漁獲枠3 している。大型巻網船の 間が必要であり、当面は、 定供給するには、まだ時 である。大量に種苗を安 のポテンシャルは未知数 と、養殖があるから、天 ないだろう。さらに言う 天然資源の代替にはなら